

平成 26 年度 予算施策評価表

様式1

施策名	森林の保全・整備	予算施策コード	ns11
担当部局名	農林水産部 森林局 森林整備課	評価責任者	課長 須賀 康
		連絡先	4162

1 施策の内容

施策の目標	森林の役割に対する県民のニーズが多様化・高度化していること。山村の過疎・高齢化、林業採算性の低下に伴い間伐等の遅れた森林が増大し、森林の持つ公益的機能の低下に対する懸念が高まっていること。戦後造成された愛媛の人工林は資源として成熟化しつつあり、利用可能な状況となってきたこと。 このようなことから、県民共有の財産である森林の環境資源としての役割を重視しつつ、充実した森林資源の活用を図ることで多様な森林の保全・整備に取り組む。
-------	--

これまでの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・山地災害から県民の生命・財産を守るとともに、森林の持つ公益的機能の発揮を図るため治山事業や造林事業を実施。 ・平成13年を「森林そ生元年」と位置づける。 ・平成13年度から水源林対策として県下の主要3流域で「水源の森づくり推進モデル事業」を実施。 ・平成14年度から放置森林対策として「新たな森林管理推進事業」を実施。 ・平成17年度から森林環境税を導入し、「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」の3つの分野で事業を実施する。 ・平成18年度から「森林そ生プロジェクト」を立ち上げ、森林の団地化・集約化により木材生産から流通加工に至る総合的なコスト削減を行い、低質材を含め徹底した木材利用の推進により森林整備の促進を図っている。 ・平成21年度から川上・川下一体で森林整備の加速化と林業・木材産業の再生を図るため「森林そ生緊急対策事業」実施。 ・平成22年度から第2期森林環境税により、CO2吸収源としての森林整備や県民参加による森林づくり活動などを実施。 ・平成23年度に「えひめ森林・林業振興プラン」を策定し、健全な森林づくりと環境に優しい木材の利用拡大に努める。 ・平成26年度から「林業躍進プロジェクト」を開始し、主伐の計画的・段階的な導入と伐採後の適切な再造林を図る。
----------	---

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	間伐実施面積の累計	B	
選択理由	森林は様々な公益的機能のほか、木材の生産機能の発揮も求められており、これら機能を高度に発揮するため、「えひめ森林・林業振興プラン」においても年間間伐面積目標を9,500haと定めている。	選択理由	
算定方法	間伐実施面積の累計	算定方法	
成果と指標の関係	強	指標の種類	ストック

指標・事業費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費			
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算	国費	その他	県費
単位	ha			%			千円			
24年度	47,500	40,923	86.2%				8,490,087	4,338,975	1,763,867	2,387,245
25年度	57,000	47,043	82.5%				9,022,919	5,191,581	1,990,724	1,840,614
26年度	66,500		実績無				11,449,106	3,553,566	5,475,289	2,420,251
27年度 目標値	76,000									
最終目標	76,000									

2 施策の評価

県の関与の必要性	高い	説明	林業を取り巻く状況が年々厳しくなる中、森林の整備を森林所有者のみに依存することは、困難な状態となりつつある。また、森林に対する県民のニーズの多様化により森林は「木材生産の場」のほか、「水源かん養」や「国土の保全」、「保健休養の場」さらには近年「地球温暖化問題の対応」として、二酸化炭素を吸収・固定する役割などの認識が高まってきている。これらの機能の恩恵にあずかる受益者が、不特定多数であることから、県の関与の必要性がより一層高くなってきている。							
成果指標A		説明								
成果動向										
成果向上余地										
成果指標B		説明								
成果動向										
成果向上余地										
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	—	この欄は、成果動向評価後に表示されます。				成果向上余地	0.00	ほとんどない	

今後予測される環境変化	
-------------	--

3 今後の方向①（施策の方向性）

成果と財源配分に関する方針	
---------------	--

今後の方向②（構成事業の見直し）

事業名	26年度総コスト(千円)		評価結果 (3:高い~1:低い)					改善・見直しの方向等	27年度当初予算額(千円)
	事業予算(a)	人件費相当額(b)	主な成果指標	達成率(%)	県関与の必要性	成果動向	成果余地		
林道整備事業費	1,846,596	63,366	林内道路密度						
広域林道整備事業費	442,202	16,179	林内道路密度						
補助率差額(林道)	0	0	「評価対象外」	補助率差額					
県単独林道整備事業費	58,007	5,730	林内道路密度						
大規模林道圏開発林道事業費負担金	244,999	1,349	民有林間伐面積						
森林整備地域活動支援基金積立金	152	675	協定締結率						
森林整備地域活動支援事業費	57,375	4,719	協定締結率						
森林吸収クレジット販売促進事業費	1,100	2,023	クレジットの販売数						
森林国営保険事務取扱費	13,083	3,371	森林国営保険加入面積						
森林計画樹立費	14,967	31,683	森林資源蓄積量						
えひめ森林公園維持管理費	24,475	2,697	年間利用者数						
森林そ生緊急対策事業費	5,097,016	13,482	当事業間伐実施面積の累積						
造林間伐促進費	2,177,464	16,179	搬出間伐の割合						
主伐推進緊急再造林対策事業費	193,868	3,371	当事業再造林実施面積の累計						
森林そ生集団間伐促進事業費	400,307	10,786	搬出間伐の割合						
奥地水源林保全整備事業費	58,300	3,371	森林整備実施率						
集落等山地防災危険地区整備事業費	56,000	8,763	整備率						
森林環境保全基金積立金	545,250	1,349	森林環境税予算化額						
森林そ生緊急対策基金積立金	9,372	1,349	基金執行額の累計						
県有林経営事業特別会計繰出金	125,319	28,987	県営林経営改善計画達成額						
県民と森との交流促進事業費	12,660	13,482	森の交流センターへの相談件数						
森とのふれあい活動促進事業費	10,039	3,371	森林ボランティア団体登録者数						
県民参加の森林づくり公募事業費	30,000	17,527	公募事業への参加者数						
松林等保全事業費	12,021	13,482	松生存率						
優良種苗確保事業費	18,534	2,023	苗木の配布率						
合計	11,449,106	269,314	11,718,420					0	